

年間カリキュラムの各学校や授業方針にあわせたカスタマイズに関して

提案している年間カリキュラムはあくまで試作で、各学校や授業方針に合わせてカスタマイズすることも可能です。

試作年間カリキュラムは次のような状況を想定したり、対象とする内容に強弱があります。

○レベルとしては普通の高校(入試関連企業の発表する入試偏差値で50前後以上の学校)を想定しています。

○あるていど生徒がPCの操作やOffice系の操作を中学段階前に経験していることを全体としています。

○新しい学習内容である情報科学分野、プログラミング教育、情報デザインを強化した内容になっています。そのため、従来の下記の内容が手薄になっていところがあります。

- ・ 法／制度
- ・ 倫理/モラル
- ・ 情報セキュリティ
- ・ 問題解決の手法
- ・ データベースと情報システム
- ・ モデル化とシミュレーション

カスタマイズの基本的な考え方

大きな変更方法として

- ・ Unit09(9時間) 人が喜ぶスマホアプリを開発しよう
 - ・ Unit10(2時間) 作ったスマホアプリの紹介チラシを作ろう
- を「社会と情報」「情報の科学」で行われている内容と入れ替えることが対応できると考えています。

○タイプ1: PC操作重視

PCの操作やOffice系の操作を重視した内容にします。

「キャラクターを作ろう」「チラシを作ろう」が利用できます。

○タイプ2: グループ学習での問題解決課題

「問題解決の手法」「モデル化とシミュレーション」を重視し、グループでの問題解決課題を行います。

○タイプ3: 情報モラル/情報倫理重視

「法／制度」「倫理/モラル」「情報セキュリティ」などを重視した内容にします。